



2012年 第25号

ぞうえん山梨



雪害から松を守るため施工され、冬の風物詩となっている山梨県緑化センターの雪吊り風景

- ごあいさつ2頁
- 協会の動き3頁
- 校庭緑化4頁
- 全国都市緑化フェア5頁
- 組合の動き／協会員・組合員めぐり6頁

- 青年部の活動7頁
- 平成23年度組合自主事業8頁
- 山梨緑化センター9頁
- 表彰等11頁
- 会員名簿12頁

(社)山梨県造園建設業協会・山梨県造園建設業協同組合

E-mail ● info@zouenkyo.ecnet.jp
U R L ● http://www.zouenkyo.ecnet.jp

E-mail ● zouenkyo@wonder.ocn.ne.jp

日本経済はリーマンショック以降、多くの産業が厳しい経営環境にさらされ、長期にわたって停滞していましたが、ようやく上昇の兆しが見え始めた矢先、23年3月11日に未曾有の東日本大震災に見舞われました。この大災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

そんな中、山梨県においては、「東海地震—今こそただしく恐れてしっかり備えよう！」に表現される地震災害が危惧されております。当協会においては、山梨県と平成21年9月2日に「災害時における資機材提供等の支援協力に関する協定書」を締結し、災害発生の際には、日常の取扱いに精通した毒物・劇物の取扱い責任者、農業管理指導士等の資格を有し、また消毒用資機材を保有した全協会員を動員して、化学的防除の面から県民の生活環境及び経済環境保全の為に即応出来るよう万全を期して支援協力をして参ります。災害対応活動の一例を挙げますと、平成22年4月に発生した宮崎県での口蹄疫の発生時には、宮崎県の造園業界は防災協定に基づき県下の幹線道路において通行車両の消毒作業に3ヶ月間携わり、地域社会に大きな貢献をしたことが話題になりました。

しかし、造園業界を取り巻く経営環境は、公共工事の大幅な削減により厳しい状況にあり、また指定建設業となっている造園工事業の発注形態は国土交通省で開示している「造園工事業の内容」及び「造園工事業の例示」に示す造園工事が、他の建設業に包括されてしまっている現実にあります。また、民間工事においては長く続いている歴史的円高の経済環境の下で大きな影響を受けております。このため、

当協同組合の運営につきましては、組合員の皆様はもとより、関係機関、関係諸団体の皆様方の多大なご支援ご協力を頂き厚く感謝申し上げます。

さて、2011年3月11日に起きた東日本大震災は、大地震、大津波により大災害をもたらしました。さらに、原子力発電所の事故は地域住民の生活の場を奪い、放射性物質による様々な被害をもたらしています。その放射性物質の除染では、表土の入れ替えや天地返し、落葉や芝生の撤去、家庭や公園の樹木の撤去などが行われています。我々“みどりづくり”に携わる者にとって安らぎを与えてくれるはずの緑が奪われるのはいたたまれない気持ちで一杯です。

しかし、広範囲に亘る被災地において早期の復興が望まれ、再び緑を造成する必要が生まれてくる時に、我々は造園業を営むプロ集団として真にお役に立てるものと思っております。

一方、ユーロ圏経済の不安、歴史的円高傾向等々により、日本及び本県の経済状況も見通しのつきづらいものとなっています。さらに我々造園建設業界にとっては依然として公共事業の減少や民間需要の

(社)山梨県造園建設業協会 会長 斉藤 陽一

造園工事業の業種が、先述のように防災協定で重要な位置づけがなされていること、緑は安らぎや潤いを与えるだけでなく、地域の安全安心を担う重要な役割があること、また低炭素・循環型時代の構築に大きく寄与しているなど、地域社会の維持には不可欠である地域密着型産業としてなくてはならない工事業であることを訴えていかなければなりません。

さて、当協会では技術の向上、知識の修得はもとより、ヒートアイランド現象の緩和をはじめ、様々な効果のある校庭芝生化への取り組みとして一昨年の芝草学会での発表に続き「校庭芝生化、山梨県での取り組み」を全国技術情報共有発表会（鹿児島県で開催）で講演しました。のちに集大成として冊子を刊行し、啓発活動を進めて参ります。また社会貢献活動として「ぞうえん山梨きづかいの森」の森林整備事業の実施、東日本大震災には義援金を贈るなど様々な活動を行いました。

平成24年度は従来の活動に加えて全国都市緑化フェアの視察を行い、来るべき当県開催に備えるように致します。また公益法人改革に伴い、一般社団法人への移行手続きを実施して参ります。

最後になりましたが、今後とも造園建設業の発展と社会的使命を果たすべく活動に取り組んで参ります。皆様方の一層のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。



山梨県造園建設業協同組合 理事長 小林 稔蔵

低迷により、厳しい状況が続いております。組合においても、発注形式の変遷によりほとんど共同受注出来ない状況となっています。とはいえ、好転するのを待っているのではなく、絶えず、個々の構成員や従業員は造園技術を磨く努力を続け、“みどり”に対する様々な提案をしていくことと致します。

山梨県緑化センターの指定管理者は第二期4年目を迎えます。より多くの県民の皆様にご来場いただけるようソフト部門の充実、センターに相応しい施設管理など、県のご指導を賜りながら本県のみどりづくりに貢献すべく努めて参ります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝ご発展を祈念するとともに、今後とも組合や緑化センターの運営に多大なご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。



協会の動き

平成23年度 通常総会(予算総会)開催

平成23年4月15日(金)午後4時から、当協会会議室に於いて、出席会員32名、うち本人出席25名、委任状による代理出席5名、表決会員2名を得て平成23年度通常総会(予算総会)が開催された。依田忠理事が司会を務め、石原政人副会長の開会のことば、斉藤陽一会長の挨拶があった。その後、須田良英理事が議長に選任され直ちに審議に入った。第1号議案平成23年度事業計画(案)、第2号議案平成23年度収入・支出予算(案)を一括審議することとし、事務局説明の後、質疑に入ったが異議なしとして満場一致で可決承認された。続いて第3号議案公益法人制度改革に伴う対応についてが提案され、事務局より「一般社団法人」への移行を選択する理由説明がされたが、異議なく承認された。次いで第4号議案 役員を選任についてが審議され、新役員が選出された後、別室にて理事会を開催し、会長、副会長等を次ぎのとおり選任した。



〈平成23年度役員〉

会長：斉藤陽一、副会長：石原政人、専務理事：進藤敏夫、
理事：飯島慶一、内田正文、小林稔蔵、須田良英、仲村清輝、
堤明伸、依田忠、
監事：河野嘉孝、若尾和成

平成23年度 第35回通常総会(決算総会)開催

平成23年5月27日(金)午後3時から、当協会会議室に於いて、出席会員32名、うち本人出席22名、委任状による代理出席者6名、表決会員4名を得て平成23年度第35回通常総会(決算総会)が開催された。依田忠理事が司会を務め、石原政人副会長の開会あいさつに続いて、斉藤陽一会長のあいさつがあった。その後、協会表彰規定に基づき造園功労者3名(今村浩一氏、野中勝磨氏、三井裕也氏)に会長から表彰状が贈呈された。

引き続き、来賓の山梨県県土整備部長代理として技監の上田仁様から祝辞を頂いた後、須田良英理事を議長に選任し直ちに議事に入った。第1号議案平成22年度事業報告の承認について、第2号議案平成22年度収支決算の承認については一括審議とし、事務局説明のあと若尾和成監事より「適正に執行されている」旨の報告がなされ、満場一致で可決承認された。続いて第3号議案総会議決事項の委任についてが提案され、異議なく承認された。続いて第4号議案その他についてが提案されたが何の意見等も出なかった。

全国造園フェスティバル2011事業に参加



日造協主催の「全国造園フェスティバル2011事業」が全国各地で開催されたが、当協会では10月22日(土)、23日(日)の両日、山梨県緑化センターにおいて開催した。

同日は、同会場で山梨県造園建設業協同組合主催の「緑の感謝祭」も開催されたが、この祭に協力する形で参加する一方、同会場にコーナーを設けて啓発普及のチラシや花の種の配布、アンケート調査などを行った。

また、22日(土)には日造協本部役員2名が今後のイベント開催の参考にするため山梨会場を訪れ、開催状況や会員からの聞き取り調査を行った。

お知らせ

代表者の変更

中央造園土木(株)代表取締役 今村尚人
就任 平成22年7月13日

甲南緑化(株)代表取締役 岩田めぐみ
就任 平成23年1月16日

組織の変更

旧社名 (株)アセラグリーン



新社名 (株)アセラ技建

変更 平成23年9月1日

育てましょう! 校庭の芝生

校庭の芝生化は、子どもの成長や周囲の環境に対して様々なメリットがあります。

近年、子どもたちが外に出ず、教室内で過ごすことが多くなっています。校庭の芝生化によって、グラウンドで寝転んだり、自由に駆け回るようになり、子ども本来の姿を取り戻せることがわかっています。

校庭を芝生化すると、どんなメリットがあるのでしょうか?



土埃が立ちにくい

地球環境に優しい

転んでもケガが少ない

みんな仲良く体力の向上

その他、景観の向上・環境教育の実践・芝生の利用や管理を通して地域の輪が広がることなどが考えられます。

芝生化するためのステップはどこからスタートしたらよいのでしょうか?

STEP 1 芝生の種類を選ぶ

暖地型芝草 ● 暑い気候で旺盛に伸びますが、秋以降は枯れ、春から再び生育します。

寒地型芝草 ● 暑さには弱いのですが、秋に旺盛に伸びます。

一年中美しい緑の芝生を保ちたい場合は、この2種類を組み合わせます

STEP 2 芝生化する範囲を決定



全面緑化タイプ



周辺緑化タイプ



中央緑化タイプ



半面緑化タイプ

土埃の飛散抑制効果が大きく、見た目も美しく、心に潤いを与えます。

中央のクレー部分が広いので、踏圧による芝のダメージが抑えられます。

中央のみの緑化と周辺緑化を組み合わせる方法があります。

他のタイプと比べ、芝生の管理コストを最も軽減することができます。

STEP 3 管理の方法を選ぶ

管理方法	専門業者に委託する	専門業者と保護者で行う※	保護者が全て行う
メリット	芝生の生育が安心	コストを抑え管理方法を学ぶ	コストがかからない
デメリット	コストがかかる	保護者への負担が多少残る	芝の生育が心配

※【実例】最初の1~2年を業者に、次の2~3年を業者指導で保護者が行い、その後保護者が行う。

ティフトン芝による緑化の施工例



手蒔き

駿台甲府小学校
1,000㎡



ロール芝

中銀スタジアム(小瀬スポーツ公園)
7,514㎡



機械蒔き

志麻の里防災公園
7,777㎡

「ぞうえん山梨 きづかいの森」森林整備事業

平成23年11月5日、当協会は第3回目の枝打ち・下刈り作業を会員33名が参加し、社会貢献事業として実施した。当日は先ず、会長の挨拶（要旨：①この事業はCO2削減に伴う社会貢献活動である。②この事業は現在、進めている当協会の社団法人を一般社団法人化するための公益目的事業として位置付けている。③会員同士の絆及び団結を新たに構築する場である）があり、次に山宮技術副委員長から作業内容及び作業工程の説明を受けて作業を開始した。今回は枝打ち作業2班、下刈り作業2班、支障木切断・片付け作業1班



の5班編成に分かれ、手際よく、安全且つ順調に作業が実施された。

この事業は平成21年8月5日、当協会と旧増穂町の間で「やまなし森づくりコミッション会長」立会のもと森林整備協定（場所：南巨摩郡富士川町平地地先整備面積：5.1ha 期間：10年間）を締結して、県で推進する地球温暖化防止、水源涵養、県土保全等、森のもつ公益的機能の確保を目的として行われているものである。



「全国都市緑化フェア」山梨県開催に向けて

全国都市緑化フェアは、国民の都市緑化意識の高揚や都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、「緑豊かな潤いのある地域づくり」に寄与することを目的に実施されている、いわば「みどりの地方博覧会」とも言えるイベントです。

全国都市緑化フェアの会場では、開催地の特色を活かした都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及、技術の向上などに関連する様々な行事が実施されています。また、同時に全国都市緑化フェアの開催期間中、広く各界の参加のもと都市緑化に対する国民の理解と協力を得て、緑豊かな潤いのあるまちづくりを推進することを目的に、同フェアの中心行事として、秋篠宮同妃両殿下をお迎えして全国都市緑化祭を開催しています。



今年度は第28回目が鹿児島県において開催され、今後の開催予定として平成24年度が東京都（9月29日（土）～10月28日（日））、平成25年度が鳥取県に決まっています。また、開催期間は概ね2ヶ月間ほどで、期間中には数10万人もの入場者を数えています。

このフェアは、本県にとって観光立県、県産品のアピール等をはじめ、経済効果なども含め計り知れない大きな効果が期待でき、また富士山の世界文化遺産の気運高揚等に多大な波及効果を創出するとともに、本県を再認識、再発見して頂く良い機会となります。

このように、本県で全国都市緑化フェアを開催することは、極めて大きな意義があります。

当協会では、毎年行われているフェアの視察を実施して、来るべき本県開催に備えております。

お知らせ

「街路樹剪定士研修会・認定試験」等の開催について

本県の「街路樹剪定士の資格」取得者は155名（H23.4現在）に達しており、県内の街路樹整備等の分野において、樹木の生理・生態や街路樹に関する専門知識と伝統的な職人芸とも言える技能を併せ持ったスペシャリストとして大いに活躍している。

この資格は、近年、発注側にあっても重視する傾向が強まっており、全国各都道府県や市町村において街路樹剪定士の常駐や指導さらに見本剪定実施等の特記仕様書に明記する、また入札等の参加資格や評価項目とするところが増加している。

こうした中、当協会では（社）日本造園建設業協会山

梨県支部と協力し、次のとおり開催を予定している。

●「街路樹剪定士研修会・認定試験」

平成24年2月下旬開催予定

- 受験資格 造園技能士2級以上（2級の場合は取得後2年以上の実務経験）
樹木の植栽工事又は剪定業務に直接従事した実務経験の合計が7年以上

●「街路樹剪定士資格更新研修会」

平成24年1月27日（金）開催

- 対象者 平成19年度の認定者 平成17・18年の認定者でまだ更新手続きをしていない者。

なお、詳細について知りたい方は、（社）日本造園建設業協会のホームページをご覧ください。

組合の動き

平成23年度 臨時総会開催

平成23年4月15日(金) 午後2時20分から当造園建設業会館において役員改選のための臨時総会が開催された。

第1号議案 役員選出の件

事務局から、役員全員から辞任届が提出されているため、役員改選する旨の説明があり、理事11名、監事2名の選出を投票により行い、今井正行理事、帯金岩夫理事、小林稔蔵理事、藤原辰男理事、清水

文一理事、堤明伸理事、仲村清輝理事、斉藤陽一理事、依田忠理事、小野訓考理事(員外)、杉村直英理事(員外)、志村好啓監事、名取満監事を選出し、直後に開催された理事会において、理事長に小林稔蔵理事、副理事長に帯金岩夫理事、専務理事に杉村直英理事が選出された。

第2号議案 その他

その他意見等はなく午後4時20分閉会した。

平成23年度 第25回通常総会開催

平成23年5月27日(金) 午後4時05分から当造園建設業会館において開催された。

司会者堤明伸理事が開会を宣し、小林稔蔵理事長の挨拶に続き、来賓の山梨県みどり自然課石原三義課長様及び山梨県中小企業団体中央会新海一男専務理事様からそれぞれご祝辞をいただいた後、議長に帯金岩夫副理事長が選任され審議に入った。

第1号議案 平成22年度事業報告・収支決算承認の件

事務局の説明の後、名取満監事が監査報告を行い、これを議場に諮ったところ可決承認された。

第2号議案 平成23年度事業計画・収支予算決定の件

事務局の説明の後、これを議場に諮ったところ可決決定された。

第3号議案 定款の一部変更の件

事務局が原案を朗読説明の後、これを議場に諮ったところ可決決定された。

第4号議案 総会議決事項委任の件

事務局の説明の後、これを議場に諮ったところ可決決定された。

第5号議案 その他

以上で議事が終了し、午後4時50分閉会した。

協会員・組合員めぐり

山梨ガーデン株式会社

代表取締役 依田 忠
所在地 南巨摩郡富士川町最勝寺 1514

当社は、昭和41年に山梨ガーデンを開業し、昭和58年に甲府営業所を開設、昭和60年に組織変更を行い山梨ガーデン株式会社とし現在に至ります。

私たちは、人と自然のふれあいの精神に立脚し、庭園・公園・スポーツ施設の設計施工、快適なリゾートライフ・スポーツ・レジャーや文化・芸術活動などゆとりある社会環境の提案者として、造園業をとおして豊かな明日への一躍を担い、社会に幅広く貢献していく所存です。

近年は、土木事業に展開を図るとともに関連企業とし「介護支援事業」・町の指定管理者として「温泉施設」を運営し、地域に貢献する企業を目指し社員一同取り組んでいるところがあります。



野尻造園建設有限会社

代表取締役 野尻 積道
所在地 韮崎市穂坂町宮久保 5122 番地 2

当社は、昭和37年に野尻造園を設立し、平成6年に法人化を図り野尻造園建設有限会社として現在に至っております。今、社会はグラウンドの芝生化等、益々緑が必要とされてきております。当社と致しましては、微力ではありますが造園工事を通して「地域社会の環境緑化づくり」のお手伝いのできればと思っております。また、これからも、我々の造園業界の事をもっと良く理解して頂けるようにしていきたいと思っております。

時代が変わるごとに、庭に対する考え方も変わってきております。当社と致しましては「お客様の立場になって、一番良い庭づくり」を目指し、日々技術力・技能を磨き精進して参る所存であります。



青年部の活動

公園リニューアル

県内の特に小規模公園は老朽化が進み、人と人が集う安らぎの場となっていない公園がたくさんあります。そうした公園を緑豊かな癒しの空間にリニューアルし、たくさんの人々が集まる公園づくりのお手伝いが出来ればありがたいと考えています。また、そのための調査・設計・予算・研修会などを計画し、それに携わる部員相互の技術力の向上も同時に図って行きたいと考えています。

同じ造園に携わる仲間として、情報交換をし、話し合い、一致団結して、この時代をみんなで乗り越えていこうと思います。



リニューアル前の調査風景

街路樹マップ



現在、県道沿いにはさまざまな樹木が植えられており、それが街の景観をつくり地球温暖化防止になり、事故防止に繋がっています。そうした街路樹の管理に係わっているものとして、どこに、何が、どのくらい植えられているのかがわかり、台風・事故等の被害が出た時に、瞬時にその被害状況がわかるような街路樹マップを作成し、これからの街路樹の景観づくりと維持に役立てて行きたいと思っています。

街路樹マップは、路線名をクリックすると左図のように該当路線が赤くなり、左側に交差点名が列記されます。その交差点名をクリックすると、その場所の植栽帯の位置図・街路樹情報を知ることができます。



やまなしクリーンキャンペーンへの参加

実施日 平成23年9月30日 AM8:00～10:00
参加者 山梨県森林環境部環境創造課 環境保全担当1名、山梨県造園建設業協会、協同組合 青年部16名

活動内容 やまなしクリーンキャンペーンに協力し、甲府駅南口にてチラシと、花の種（撫子・ポピー・カスミ草）3,000袋を駅利用者に配布しました。



視察研修

目 時 平成23年9月9・10日
参加者 青年部員21名
研修先 愛知県緑化センター・ノリタケの森・愛地球博跡地

愛知県緑化センター所長より直接説明を聞くことができました。このセンターは昭和51年に緑化の普及・推進を目的として開設された緑の総合施設だそうです。総面積が48haあり、建築物と緑の融合というコンセプトを見事に実現されている施設だと感じました。ただ現在、老朽化の問題は深刻であり、私たちが収集しているリニューアルポイントの考え方・改善案について、多くの意見や刺激を受ける最良の研修になりました。



平成23年度組合自主事業

山梨県造園建設業協同組合は山梨県緑化センターの指定管理者として、今日まで様々な自主事業を実施し、来園者数の増加を図ってまいりました。

今後も尚一層創意工夫を重ね、県民の皆さんの期待に応えられるよう努めてまいります。多くの県民の皆様方の暖かいご支援をお願いすると共に関係各位のご協力をいただき、管理運営の質を高め、当センターがより身近に感じていただける施設になるよう職員一同尽力してまいります。

●山梨グリーンフェア●

東日本大震災の為、開催中止。

●各種展示会●

4月23日から2日間山梨エビネ蘭研究会出展による「エビネ蘭展」を開催した。

6月24日から3日間、昇仙峡山草会・山梨羽蝶蘭保存会出展による「ウチョウラン展」を開催した。出展者の丹精込めて育てた作品に訪れた人達は見入っていた。

10月22日から2日間山梨遊心会による「秋を彩る盆栽展」を開催した。緑の感謝祭と同時開催でもあり、大勢の来園者の目を楽しませた。

平成24年1月には「洋ラン展」、3月には「春蘭展」の開催を予定している。



●緑の感謝祭●



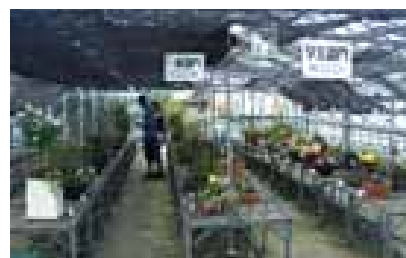
10月22日から2日間緑の感謝祭を開催した。組合員により樹木、花、園芸資材、農産物等の販売を行った。

その他「ポニー乗馬体験」・「ツリークライミング体験」・「もちつき大会」等も開催された。特に組合員青年部による「高所作業車乗車体験」「子供工作教室」等も開催され子供たちの人気となった。ショータイムでは三宅太鼓演奏・フラダンス・バンド演奏が行われ会場を盛り上げた。

同時開催として、日本造園建設業協会山梨県支部による「全国造園フェスティバル2011」も行われ、来園者に花の種が配られた。県内各地から約5,000人の方が来園した。

●寄せ植えコンテスト●

「秋を彩る寄せ植え」をテーマに第2回寄せ植えコンテストの作品を募ったところ、学生部門35点、一般部門38点合わせて63点の応募があり、知事賞以下18点の入賞作品が選ばれ、10月23日緑の感謝祭の会場で表彰式を行った。今後も手軽に誰でも参加出来るコンテストとして定着を図ってきたい。



●みどりの写真コンテスト●

「第6回みどりの写真コンテスト」を開催。6月から出品を募った。「樹木」「私の好きな庭」「風景」の3部門で作品を募集した。銘木、奇木、花、印象に残る庭、山梨の豊かな自然を繊細な感性で捉えた優秀な作品等、179点の応募があった。

写真家若林賢明先生を審査委員長として審査を行い、各部門の知事賞、優秀賞が決定され11月18日から20日まで展示会を開催した。

知事賞受賞作品は緑化センターに通年展示されている。

●その他研修会

中巨摩東部農業協同組合女性部以下4団体から依頼を受け「寄せ植えを学ぶ」等の研修会を開催した。

表 彰 等

協 会

●(社)日本造園建設業協会会長賞 (業績表彰)

仲村清輝 氏
(株)仲村造園



当協会理事・技術委員会委員長中村清輝氏は、平成23年6月23日(木)、グランドアーク半蔵門において開催された平成23年度(社)日本造園建設業協会通常総会において、協会会長賞(業績表彰)を受けた。

氏は、大学卒業後、甲府市役所に就職したが、平成7年には、有限会社仲村造園を興し取締役として就任し、平成13年9月には、組織変更した株式会社仲村造園の代表取締役に就き、経営者としての手腕を発揮して現在に至っている。

氏はこれまで甘利沢川公園工事(平成20年)、島上条宮久保絵見堂線修景工事(平成21年)、御勅使南公園工事(平成22年)、清里駅前広場植栽工事(平成22年)など多くの公共・民間事業を手がけ、その施工実績や高度の技術力は高い評価と信頼を受けている。

また、平成17年から19年まで、(社)山梨県造園建設業協会青年部の部長として街路樹マップの策定や各種造園技術講習会を開催するなど若手技術者の育成に尽力し、平成21年からは当協会の理事に就任し協会運営に精力的に取り組んでいる。また、同時に総務委員会副委員長に抜擢され、平成23年には事業委員会委員長に就任し、現在も大いに手腕を発揮しているところである。特に、ここ数年は氏が中心メンバーとなり「全国都市緑化フェア山梨開催」の早期実現に向け、数多くの会場視察を実施するとともに関係機関への要望活動を行ない、また「壁面緑化工法」を企画、計画策定するなど精力的かつ果敢に取り組む、着実に成果を上げている。

氏のこのような輝かしい業績を通じての協会への貢献度は極めて高いものがあるとともに協会活動などに骨身を惜しまずに取り組む姿勢は、正に他の範となるものであり、こうした貢献・功績が認められたものである。

●造園事業功労者

今村浩一 氏
(株)富士グリーンテック



野中勝磨 氏
(株)富士グリーンテック



三井裕也 氏
(株)雲松園



平成23年5月27日(金)、当協会会議室に於いて開催された平成23年度通常総会の席上、上記3氏が「造園事業功労者」として表彰された。各氏とも、会員会社の社員として造園事業に携わっているが、その功績が顕著であり他の模範であるとして表彰された。

●(社)日本造園建設業協会会長賞 (業績表彰)

堤 明伸 氏
(株)津々美造園



当協会理事・事業委員会副委員長堤明伸氏は、平成23年6月23日(木)、グランドアーク半蔵門において開催された平成23年度(社)日本造園建設業協会通常総会において、協会会長賞(業績表彰)を受けた。

氏は、大学を卒業後、(株)柳島寿々喜園に入社したが、平成元年には父が経営する(有)津々美造園に就き、平成3年には同社の専務取締役就任、平成19年からは(株)津々美造園の代表取締役に就任し現在に至っている。

氏はこれまで平成18年には山梨県立大学の植栽工事、20年には県営貢川団地樹木整備工事、21年には甲府駅北口駅前広場樹木移植工事などの数多くの公共工事を手がけ、その一方で私邸造園工事などの民間工事も手がけ、その優れた技術力に裏打ちされた施工実績は高い評価を受けている。

また、氏は平成19年から現在まで、(社)山梨県造園建設業協会・山梨県造園建設業協同組合青年部の部長として、21年には同協会の事業委員会副委員長及び理事として活躍し、平成20年の日比谷公園ガーデニングショーへの出品をはじめとする各種イベントに積極的に参加するとともに各種事業や研修会を企画開催して若手技術者の育成に尽力している。また、22年には駿台甲府小学校校庭芝生化促進事業に携わり、その成果を日本芝草学会秋季大会の校庭緑地部会において講演し当協会をはじめ関係造園建設業団体の存在を他に誇示した。また、日造協の「地域リーダー」に抜擢されるなど業界の牽引役として活躍している。こうした貢献、功績が認められ表彰された。

東日本大震災への寄附金

平成23年3月11日、未曾有の東日本大震災が発生し、広範囲に亘り甚大な被害と2万人を超える死者行方不明者が出ました。

この震災を受け当協会及び組合においては、即刻臨時合同理事会を開催し、被災者に対し協会及び組合から各30万円の義援金を送ることを決定し、3月25日、山日YBS厚生文化事業団に会長・理事長等が訪ね善意の義援金を納付しました。



平成23年3月26日(土)付山梨日日新聞より

表彰等

組合

●山梨県技能者表彰 (やまなしの名工)

平成23年11月30日山梨県立中小企業人材開発センターにおいて、松へのこだわりと自信を持ち、組合員からも高い信頼を得ていること、池の一部を建物の下に入り込ませたアイデアと石組みにより、庭を広く四季を楽しませる工夫で奥行きのある庭に仕立てる等の造園技術が認められ「やまなしの名工」として県の表彰を受けられた。

今井正行 氏
(有)今井ガーデン



して表彰された。

氏は長年組合青年部で活動し、後に組合役員として積極的に組合運営に取り組み、指定管理者となった県緑化センター事業の中核的なメンバーとして活躍、組合及び環境緑化への貢献度は極めて高く、これが認められた。

●山梨県中小企業団体中央会表彰 青年部功労者

辻 宏幸 氏
辻緑化土木(株)



平成23年6月2日アピオ甲府で開催された山梨県中小企業団体中央会平成23年度通常総会において、長年の組合青年部活動に積極的に参加し、青年部主催の技能講習など数多く提案・企画開催し、若手造園技術者のボトムアップを図るなどの実績を残し、人望も篤く信頼される存在であり、これが認められて青年部功労者として表彰された。

●山梨県中小企業団体中央会表彰 組合功労者

今井正行 氏
(有)今井ガーデン

平成23年6月2日アピオ甲府で開催された山梨県中小企業団体中央会平成23年度通常総会において、組合功労者と

山梨県景観アドバイザー活動報告

南アルプス市上高砂地区の サクラをテーマにした景観形成に参加して

山梨県造園建設業協会 大塚 広夫
景観部門研究員

以前から地域活動として景観づくりをしてきたこの地域は県道南アルプス甲斐線への植栽や清掃活動を通して「かいミント街道」を整備してきた。活動する団体がこれらの景観づくりを今後も継続して広げていくために掲げた課題は

- 「かいミント街道」の植樹木の維持管理、
- 釜無川右岸堤防のサクラや低木の植栽、
- 美しい農村景観の保存、活用、
- サクラの名所づくりとサクラツーリズム等であった。

サクラの植栽検討をした南アルプス市上高砂地区の釜無川右岸河川敷は広々とした眺めのいい河川敷である。現地からは八ヶ岳、富士山、南アルプスと甲府盆地を取り囲む山々が一望でき「この河川敷にサクラを植えて人が集まるようにしたい」というのが活動団体の考えである。この河川敷には古くから植えられているアカマツが30数本あるのだが、「古くからあるアカマツも大切に守りつつ、サクラの植栽を考えていきたい」といった住民の方々の意見を多く聞くことができた。サクラについては樹種や樹木のサイズ、植栽間隔や「将来どれぐらいになるのか」などの話し合いも行われた。また行政側からも「歴史的背景を調査し、貴重なアカマツ群としての検討をする」という意見もあった。まさに市民と行政が協力して景観づくりをしていこうと

いう取り組みであり、今後このような取り組みはますます重要になってくるであろう。

「山梨県は景観」。山梨県知事が以前はなしていた言葉である。観光、まちづくり、農村振興、森林整備といった山梨県が抱える課題に共通するのは景観という視点である。公共工事が減少し、景気低迷の厳しい現在、私たち造園業界は生き物（植物）を扱い景観づくりをする専門業界としてもっと積極的に新領域にアプローチしていかなければならない。そのためには幅広い視野で自分たちの「職業の領域」を広げていくことが不可欠になるのではないかと。

※山梨県景観アドバイザー活用事業とは

美しい県土づくりを推進するために県市町村が行う景観形成に関する勉強会や公共事業に対し、景観形成の観点から専門化が助言を行う事業。

担当部署：県土整備部美しい県土づくり推進室

<http://www.pref.yamanashi.jp/kendosui/adobaiza/adobaiza.html>



会 員 名 簿

(50音順)

会 社 名	代表者名	住 所	電話番号/FAX	E-mail/URL
(株)アセラ技建	埴原喜久男	甲府市蓬沢町1171	(055) 233-4617 (055) 233-4633	giken@acera-jp.com
(株)石原グリーン建設	石原 政人	甲府市高室町269	(055) 241-2001 (055) 241-0822	office@green21.co.jp http://www.green21.co.jp
(株)石和植木	齊藤 隆夫	笛吹市石和町川中島378	(055) 263-2070 (055) 262-4889	isawa@mbd.nifty.com
(有)今井ガーデン	今井 正行	甲府市里吉一丁目6-24	(055) 237-0027 (055) 226-8788	garden-imai.yugen@abelia.ocn.ne.jp
(株)雲松園	小林 稔蔵	北杜市小淵沢町3630	(0551) 36-2432 (0551) 36-4128	info@unshouen.co.jp http://www.unshouen.co.jp
(株)帯金造園	帯金 岩夫	甲府市池田二丁目11-12	(055) 251-4128 (055) 251-4194	office@obikane.co.jp http://www.obikane.co.jp
(有)荻野造園	荻野あさ子	甲府市伊勢四丁目1-12	(055) 235-4045 (055) 231-2020	ogino@peach.ocn.ne.jp http://www4.ocn.ne.jp/~ogino
(株)河口湖庭園	梶原 陽一	南都留郡富士河口湖町船津4940-1	(0555) 72-0635 (0555) 72-5435	yozan@kawaguchiko.ne.jp
(有)窪田造園	窪田 健司	甲斐市中下条1673	(055) 277-2111 (055) 277-8881	kubotazouen@za.wakwak.com
河野造園土木(株)	河野 富重	甲府市下飯田二丁目5-27	(055) 222-4396 (055) 222-0555	info@kzd.co.jp http://www.kzd.co.jp
甲南緑化(株)	岩田めぐみ	甲府市高室町721	(055) 241-6136 (055) 241-6135	kounan@maple.ocn.ne.jp
(株)三枝造園	三枝 正雄	富士吉田市松山1267-6	(0555) 22-1174 (0555) 22-2219	saigusazouen@r4.dion.ne.jp
三協造園(株)	八木 幸彦	西八代郡市川三郷町市川大門4796	(055) 272-6000 (055) 272-7777	sankyouzouen@beetle.ocn.ne.jp http://www.sankyo-ls.co.jp
(有)サンリツ造園土木	土屋 潤一	中央市若宮31-11	(055) 273-8644 (055) 273-8633	sanritsu-2006@topaz.plala.or.jp
(有)敷島緑化土木	石水 理恵	甲斐市島上条1664	(055) 277-2530 (055) 277-8311	sryokkas@cronos.ocn.ne.jp http://www15.ocn.ne.jp/~sryokkas/
(有)清水造園	清水 文一	甲府市里吉一丁目7-21	(055) 233-9748 (055) 233-9758	shimizu.z@sea.plala.or.jp
(株)芝 保	藤原 辰男	甲府市貢川本町18-20	(055) 237-7000 (055) 224-5555	shib0377@peach.ocn.ne.jp http://www3.ocn.ne.jp/~shibaho
(有)志村樹苗園	志村 好啓	甲府市緑が丘一丁目4-4	(055) 253-6983 (055) 253-6985	shimura.sdv4@rouge.plala.or.jp
(有)須田造園	須田 良英	笛吹市八代町米倉729	(055) 265-2452 (055) 265-3691	suda@arion.ocn.ne.jp http://www.land-s.co.jp
中央造園土木(株)	今村 尚人	甲府市徳行一丁目9-27	(055) 226-4525 (055) 226-4573	info@chuouzouen.co.jp http://chuouzouen.co.jp
辻緑化土木(株)	辻 宏三	甲府市朝気三丁目3-16	(055) 233-9545 (055) 233-9542	info@tsuji.ecweb.jp http://www.tsuji.ecweb.jp
(株)津々美造園	堤 明伸	甲府市愛宕町146	(055) 253-2188 (055) 253-7835	tsutsumi@mx10.ttcn.ne.jp http://www.tsu2mi.com
(有)東香園	名取 満	南アルプス市十日市場1828-1	(055) 282-0970 (055) 282-0952	tou-kou@eps4.comlink.ne.jp
(株)仲村造園	仲村 清輝	北杜市明野町小笠原3838	(0551) 25-2348 (0551) 25-2439	naka-la1@aurora.ocn.ne.jp
野尻造園建設(有)	野尻 積道	韮崎市穂坂町宮久保5122-2	(0551) 22-0615 (0551) 22-2531	h-nojiri@amber.plala.or.jp
富士観光開発(株)	志村 和也	南都留郡鳴沢村字富士山8545-4	(055) 273-5753 (055) 273-4919	kensetsu@fujikanko.co.jp http://www.fuji-net.co.jp/
富士急建設(株)	小俣 賢治	富士吉田市新西原五丁目2-1	(0555) 22-7151 (0555) 22-7153	fken@fujikyuu-kensetsu.co.jp http://www.fujikyuu-kensetsu.co.jp
(株)富士グリーンテック	齊藤 陽一	甲府市富竹三丁目1-3	(055) 236-1600 (055) 224-5520	fujit@mx.mesh.ne.jp http://www.fujigreentech.jp/
(株)明桃園	小林 洋	南アルプス市桃園968	(055) 282-4128 (055) 282-4190	meitoen@khaki.plala.or.jp
山梨ガーデン(株)	依田 忠	南巨摩郡富士川町最勝寺1514	(0556) 22-4181 (0556) 22-2359	y.garden@cronos.ocn.ne.jp
(有)山宮造園	山宮 一哲	甲府市大里町3608	(055) 241-2256 (055) 241-2078	yamamiya@kvj.biglobe.ne.jp
(有)吉井造園	吉井 公人	甲斐市西八幡4044-6	(055) 276-0470 (055) 230-6322	yoshii-zouen@ag.wakwak.com